

しなののうた

今日彼岸納骨堂へ墓参り白髪揺れる春のひかりに



杉田小百合

しなののうた

昨夜降りし霰まじりの雪を積む笹の雫が虹色に映ゆ

杉田小百合



しなののうた

喘ぎつつ上る坂道突然に春告鳥の声澄み渡る



杉田小百合

しなののうた

夫眠る墓の扉を開けたれば鈍色の気の飛び出してくる

杉田小百合



しなののうた

鶯の声も連れきて亡夫の前
悲喜こもごもを語りて安堵



杉田小百合